

東京都議会議員選挙(港区選挙区)選挙公報

(定数 2 人)

東京都選挙管理委員会

国民民主党

こくみん

都民の負担を減らし、手取りを増やす

- 固定資産税の減税、水道料金の引下げで都民の可処分所得を増やす
- 子育て世帯が東京へ住み続けられるよう家賃補助相当として、子ども1人につき年間 18万円 を給付
- インバウンド向け宿泊税で400億円確保
- 外郭団体のチェック強化、基金の適正化

弁護士だから、安全安心な東京に

- 犯罪抑止対策と被害者支援の推進
- 特殊詐欺の未然防止、地域の安全対策と若者が犯罪に手を染めずに済む貧困対策
- 区民の9割がバットマンマンシオン防災強化
- 動物愛護/ペットとの共生を推進

現役世代の手取りを増やす

弁護士

3児の父、未来へ投資

- 出産に100万円支援、妊婦検診負担ゼロ、不妊治療、無痛分娩の支援拡大、産後ケア充実で産みやすい・2人目の叶う東京に
- 共働きでも子育てしやすく、「小1の壁」撤廃ベビースITTER・家事支援の対象年齢拡大
- 一人ひとりの発達・特性に合わせた多様な選択肢を保障、子どもの未来を切り開く

持続可能な医療・介護の再設計

- 子育て・介護の当事者としてダブルケア対策を強化、仕事と介護の両立も支援
- 高齢者、障がい者の暮らしを支える、在宅医療・訪問介護の制度を再設計
- 現場の人材確保へ待遇改善、DXを支援

これまで法廷で法の知識と証拠を元に世の中の不条理と闘ってきました。裏面で利益誘導がはびこる都議会を弁護士として都民の手に取り戻し、子どもたちの未来には圧倒的な投資を、現役世代には支援と手取りを増やします。

宮崎だいすけ

■プロフィール

滋賀県出身 氷河期世代の 45 歳
 関西学院大学・青山学院大学法科大学院卒
 弁護士・社会保険労務士・行政書士・宅建士
 赤坂 7 丁目町会・赤坂消防団所属
 3 姉妹 (5 歳・4 歳・0 歳) の子育てと実父の介護のダブルケア当事者

国民民主党 公認

宮崎だいすけ

東京の病を治す

一、都民の健全な未来を守る

「医食同源」の理念に基づき、食を通じて都民の健康を支えます
医療と食育を含めた教育の連携を強化し、子どもの未来を守ります

二、都民生活の安心・安全を取り戻す

タブーとして誰もが触れなかった東京が抱える外国人問題にメスを入れ、
都民の手に安心・安全に暮らせる社会を取り戻します

三、嘘をつかない都政の実現

私たちは、何よりも誠実さを重視します
誠実さがベースにあってこそ、嘘をつかない都政は実現できます



日本誠真会 公認
吉野じゅんこ





誠意と真実と敬い
日本誠真会







吉野じゅんこ プロフィール

1969(昭和44)年生まれ。55歳。高知県出身。
北海道大学歯学部卒業。歯科医師免許取得後約28年間、歯周病治療、
歯科矯正治療、歯科睡眠治療などの多岐にわたる歯科領域分野の専門
知識を習得し、全身と口腔との関係に常に着目し、その場しのぎの対
症療法を行うことに追及。日常臨床だけでなく一般社団法人等を設立
し、その見識を広く一般の方に伝えるべく啓蒙活動に取り組む。
2人の息子を育てた母。医療と政治の二刀流をめざす！

自由民主党公認

かんの弘

3期12年で888回 議会・委員会で積極的に質問！

都政の最前線で働く。

政治は「何を言うか」ではなく「誰がやるか」。

どんなに優れたマニフェストでも、実現しなければ意味がありません。豊州市場移転問題、待機児童対策、コロナ禍の経済対策と感染拡大防止、首都直下地震や激甚化する風水害に強いまちづくりに物価高騰対策。都政の沸騰する課題に常に最前線で向き合ってきたかんの弘一人には、現場で培った豊富な経験と責任をもった実行力があります。正論と建設的な議論を交わり、課題を前へと進めます。

一時しのぎではなく 未来の都民に責任を持てる政策を！

●異次元の物価高騰対策で所得を上げる！

物価上昇と上がる買上げや従業員の手取り手当てを支給する中小企業を支援し、大企業との資金差解消をはかります。またポイント還元を活用した即効性のある政策で消費を促し、家計と経済を底支えます。

●縦割り打破で横断的に東京の防災力を強化！

東京都の防災を統括する総務委員会の委員長を務めた経験と、各委員会で積み重ねてきた議論の知見を総動員し、部局を超えた横断的な防災対策を進めます。特に、区内住宅の約3割を占めるマンションなど集合住宅の総合防災力強化を急ぎます。

●「人づくり」を全力支援しイノベーションを創出！

給付型奨学金の拡充により、若者の可処分所得を高め、将来への投資を後押しします。また、都内の理科大学・研究室と連携し、社会課題の解決に向けた学部支援を推進します。今だけでなく未来を見据え、イノベーションを支える人材への投資を強化していきます。

●この夏の水道基本料金ゼロを実現！

物価高騰でひびくする家計支援と熱中症予防の複合的な政策として、一般家庭向け水道基本料金の無償化を小池都知事に要望、実現しました。時宜を得たタイミングでスピード感のある政策実行能力を発揮。

●都営地下鉄全線ではホームドア設置完了！

三田の東京都障害者社会館に通う方からの相談を受け、以来ホームドアの設置に取り組みできました。昨年ついに都営地下鉄全線が設置完了。今後は都が開発した技術のブレイクスルーを生かしてJRや私鉄にも広げます。

その他の取り組みはこちらをご覧ください

(公式サイト)

(FACEBOOK)

(X)

(Instagram)

(TikTok)

実現しました！

かんの弘一のプロフィール

- 昭和33年 港区生まれ・港区育ち。
- 港区立白金小学校、高松中学校卒業。私立本郷高校、日本大学法学部卒業。
- 平成11年4月、港区議会議員に初当選。以降、4期連続当選。
- 港区議会議員、議会運営委員長などを歴任。
- 平成25年6月、東京都議会議員に初当選。現在、3期目。
- 議会運営委員会 委員長 新町コロシアムに感染症対策特別委員会 委員長（初代）、政策委員会 委員長、予算特別委員会 副委員長、豊洲市場移転問題特別委員会などを歴任。
- 現在、市民党東京都議会連合会の事務長に就任し、東京の地方議員の代表として信用回復をめざして組織改革に取り組み。
- 現在、経済・港湾委員会理事。港区にある水産道、港区軟式野球連盟の会長をはじめ、柔道、空手、レスリング、フェンシングなど、各種スポーツ団体の顧問も務める。

私たちも
一所懸命
応援します

いくいなき 晃子

小倉りえこ
まさのりよし
三田あきら

衆議院議員

小林 鷹之

参議院議員

朝日 健太郎

九川 珠代

東京都第七選挙区支部長

池田 豊司

二島 豊司

ゆづきくみこ

土屋 じゅん

鈴木たけや

あざなちか

小倉りえこ

まさのりよし

三田あきら

港区 区民推薦団

うかい雅彦

清原和幸

池田 豊司

二島 豊司

ゆづきくみこ

土屋 じゅん

鈴木たけや

あざなちか

小倉りえこ

まさのりよし

三田あきら

田島みわ プロフィール

法政大学院政策創造研究科 政策学修士
大妻女子大在学中にメディア関連企業入社
大妻大生としてメディアデビュー後、
女優・麻生真美子として活動
1989年 NHK大河ドラマ「春日局」
春日局の城守役で
2010年 大妻女子大マネジメントアカデミー
大妻女子大非常勤講師(女性学)
2015年 モンテネグロ芸術文化交流祭 主催
2024年 ASEANビュローパーセント 主催など
国内外の行政機関より後援・賛同をえながら国際文化交流、
社会政策推進事業を推進。心身健康ケアに注力
アジア/パシフィック女性会議議長
ミセスユニバース世界大会タイトル保持者

世界に かがやく 港区

わたしが変われば まちが変わる

私も命にやさしいまち






<https://tajimamiwa.com>



田島みわ

政策 MWA TAJIMA POLICY vision

国際都市港区の可能性をさらに高めます。

- 国際都市戦略とアーティスト支援
- 税金の正しい使い方と採算意識行政
- デジタル・スマートシティ推進
- サステナブルグリーン&ネイチャー政策
- 女性企業家支援

子育て世代にやさしい港区へ。

- 子育て支援の充実
- 高齢者支援、社会参加促進
- ハラスメント撲滅
- 地域の防災・減災対策
- 観光振興と地域活性化

私はこれまで民間の実業や国際文化事業を通じて、人と社会をつなぐ活動に取り組んできました。その経験を活かし、しがらみのない無所属の立場から、港区で実力ある改革を進めたいと考えています。

「世界にかがやく東京港」を皆さんと共につくるため、田島みわにぜひあなたの一票を託していただきますようお願い申し上げます。

自民党の経験を活かし、政党に縛られない無所属 今の都政に必須のハイブリッド候補！

自民党政策グループで国政現場を学び、政策立案や行政の課題に真摯に向き合ってきました。

元内閣官房長官
河村建夫

推薦！

たじま

(この選挙公報は、東京都議会議員の選挙における選挙公報の発行に関する条例(昭和38年東京都条例第3号)第4条第1項の規定により、候補者から提出された原稿をそのまま製版の上掲載したものです。)

投票日 6月22日(日)
投票時間 午前7時から午後8時まで

仕事やレジャーなどで投票日に行けない方は、期日前投票ができます。

- ・期日前投票期間
6月14日（土）～6月21日（土） 午前8時30分から午後8時まで
- ・期日前投票所 お住まいの区・市役所、町・村役場やその出張所など
(期日前投票ができる日時は期日前投票所によって異なります。詳しくは、区市町村選挙管理委員会のお知らせ等でご確認ください。)

東京都議会議員選挙(港区選挙区)選挙公報

(定数2人)

東京都選挙管理委員会

あなたと変える まっとうな東京へ!!

誰ひとり取り残さない都政へ

港区議会議員3期10年の実績

港区議として1000人以上の悩みに寄りそった経験を都政に活かす。

まっとうな東京を創る7つのプラン

1 物価高対策にYES!

・都民税減税により所得を増やし、東京から日本経済を活性化
・中小企業の賃上げ支援

2 裏金政治にNO!

・都議会自民党の裏金問題の真相究明、再発防止の条例を制定かつ厳格に運用

3 まっとうな医療・介護

・がん対策推進条例の制定
・介護人材確保のための支援
・認知症対策や介護予防、高齢者入所施設の整備を推進

4 まっとうな防災

・マンションの耐震化やエレベーターの閉じ込め対策、防災組織を支援
・災害に強い上下水道の整備や芝浦水再生センターの更新
・防潮堤のかさ上げや護岸の整備など治水対策の推進

5 まっとうな教育・子育て

・教員負担軽減、不登校への支援など公教育の質の向上
・ひとり親家庭への支援拡充、養育費の確保の支援

6 まっとうな環境・まちづくり

・神宮外苑の再開発では少しでも樹木を維持するとともに、環境アセス条例の改正を目指す
・地域公共交通の充実

7 まっとうな支援

・女性活躍推進条例の策定、女性用トイレ混雑の解消
・就職氷河期世代・障がい者の支援、多様性の尊重
・動物虐待や動物取扱業の監視を強化、ペットとの共生

今年、山野井つよしが提案し、実現したこと

・卵子凍結費用の助成
・高校生世代の居場所づくり
・スペシャルニーズアシスタントの小・中学校への設置
・動物政策監の配置
・港区版地域通貨の導入

清家あい港区長と区政改革

山野井つよしは清家あい港区長と区議時代、同じ会派でともに9年、改革派議員として区政改革を進めてきました!

プロフィール

●1978(昭和53)年7月25日 港区生まれ港区育ち 46歳
●聖徳大学三田幼稚園、暁星小・中・高
●成蹊大学法学部政治学科
●青山学院大学大学院法務研究科卒
●塾講師を経て、2015年4月より港区議3期10年(清家あい区長とは区議時代、同じ会派)
●医療系関連会社経営・三田寺町町会長
●防災士・区内サッカースクール代表
●母と元保護猫マリンの介護に奮闘中!

私たちも応援しています!

衆議院議員 松尾あさひろ 港区議 兵藤ゆうこ
衆議院議員 海江田万里 前港区議 杉浦のりお
港区議 阿部浩子 前港区議 横尾としなり 他やまのい
立憲民主党公認

山野井つよし

46歳

声を力に東京を進める

しがらみなく、まっすぐ実行!

★★★
新人だけど実績多数
実力派!

“だから”こそ寄り添える

【4つの強み】

- 1 無所属だから
付度なしにまっすぐ行動!
人々の声を道しるべに
- 2 中小企業経営者だから
家計と経営“二つの不安”に日々向き合っています
- 3 子育て当事者だから
子どもに向けた“心配ごと”に実感があります
- 4 親世代を支える年齢だから
高齢世代の現実が見えています

「東京教育ビジョン」をつくる

- 公教育を再生し、子どもの“生きる力”と学ぶ選択肢を!
- 中受なし(公立中高一貫校)、都立併願入試の導入、高卒資格が取れる(公立フリースクール)の拡充

展望ある経済、安心の暮らし

- 電気・Wi-Fiなど東京版ベーシックサービスをすべての人と企業に提供。固定資産税減税も実現。
- 東京都の仕事を直接発注して、中小企業の足腰を強く!

都市開発に“わくわく感”を

- 海や運河を活かす水上交通で、海に開かれた東京を!
- 住民との対話をもとに、歴史・文化・緑と調和、東京の価値を高めるダイナミックなまちづくり

見える都政、届く都政

- 結果だけを知らせる都政から「黒塗りゼロ」で議論の経過を見える化!
- 公共事業の費用対効果を検証。ムダな大型事業を見直して税の有効活用を!

東京は日本のエンジン。港区から新しい風を!
人々の声を力に変え、希望あふれる未来を実現します。

加藤なぎさ プロフィール

1979年福岡県生まれ/2児の母
アパレル会社 代表取締役(12期)
・元港区立青南小PTA会長4期
・元港区立小学校PTA連合会会長商店会・消防団(赤坂第三分団)・町会など地域に根差した活動多数。
近隣の再開発に対しては、事業者・東京都・港区・国会・国連へ要請、説明会実現など多くの実績がある。
自身が子育て当事者でもあり、PTAを通じた教育現場と連携経験などから、教育分野に深い知見をもつ。九州産業大学卒無所属
かとう

加藤なぎさ

政治屋を一掃 再生魂

さいせい だまし

- すぐやります!
- 1 都議126名全員とアポを取って一人ずつ対談を行い、YouTubeで公開します(対談を断られた場合も公開)
 - 2 お金の流れ(都議としての収入・支出・寄付等)をすべて公開します
 - 3 港区民の声・質問・要望を募集して金沢一樹が独断で精査し、そのままの内容で議会にて質問します
 - 4 議会の様子や裏で行われる会議・打ち合わせをすべて議事録として残し、できるだけYouTubeで公開します

- 実現させます!
- 1 投票率アップへ「選挙&投票=未来と真剣に向き合う機会」にします!
 - 2 都議として、区議会・区議会議員との連携を図ります
 - 3 投票所での活動に(可能な範囲で)中高生が参加したり気軽に見学できる制度をつくります
 - 4 行政の申請をもっと簡易にします

プロフィール
1988年8月13日生まれ 青森県八戸市出身
家族構成:妻と子ども3人
地域政党「再生の道」にエントリーしたが一次選考で不合格となり、無所属での挑戦を決意。かなざわ
金沢一樹無所属
36歳

(この選挙公報は、東京都議会議員の選挙における選挙公報の発行に関する条例(昭和38年東京都条例第3号)第4条第1項の規定により、候補者から提出された原稿をそのまま製版の上掲載したものです。)

投票日
投票時間

6月22日(日)

午前7時から午後8時まで

仕事やレジャーなどで投票日に行けない方は、期日前投票ができます。

・期日前投票期間

6月14日(土)~6月21日(土) 午前8時30分から午後8時まで

・期日前投票所

お住まいの区・市役所、町・村役場やその出張所など

(期日前投票ができる日時は期日前投票所によって異なります。詳しくは、区市町村選挙管理委員会のお知らせ等でご確認ください。)